

# RPAによるプリントポイント付与業務の自動化

岡山大学 情報統括センター  
主任専門職員  
藤原 崇起

2019年6月25日



岡山大学  
OKAYAMA UNIV.

# 目次

1. RPAについて
2. プリントポイント付与業務(概要)
3. RPA化への準備から運用まで
4. RPAの設定画面
5. 数字
6. 最後に



# 1. RPAについて(1/2)

- a) Robotic Process Automationの略、ロボットのなプロセスの自動処理、要は自動操作ツール
- b) ソフトウェアのロボット
- c) “AI” ではない
- d) 教えられた通り動作する、**教え方が悪ければ失敗する**(エラーとなる)
- e) 失敗したら手助けが必要なケースもある
- f) 疲れない、飽きない



# 1. RPAについて(2/2)

- g) Officeの「マクロ」機能が、Officeアプリケーションの枠を飛び出した感じ
- h) Windows95/98時代から存在していた？  
カーソルやキーボードをあらかじめ決めたルールで動作させることは昔もできた。

違いは

→簡単にGUIで設定できるようになった。  
画像マッチング処理が優秀になった。



## 2. プリントポイント付与業務(概要)

### プリントポイント

学内20教室に設置している教育用プリンタで印刷するために必要なポイント。学生は生協でポイントを購入する。

### プリントポイント付与までの流れ

① 生協窓口で学生がプリントポイントを購入



② 情報統括センターが販売情報に基づいてポイントを付与  
(購入時のポイント数+追加購入分をシステムへセット)



③ プリントシステムから学生へメールで付与状況を通知



# 3. RPA化への準備から運用まで(1/2)

## 1. 準備

1-1. 業務フローの整理

→ Web入力 → データ加工 → システムへ投入

1-2. フローの見直し(※)

→ データ加工をAccess化、システムへの入力をWeb入力からCLI処理化

## 2. 設計

2-1. データのIN/OUT、マスタ

→ 販売データ、現状データ、付与後データ、学生マスタ

2-2. ルーチン、エラー処理

→ ブラウザでダウンロード、Access実行

## 3. 開発/設定

3-1. ツールの開発(※)

→ Accessツール開発

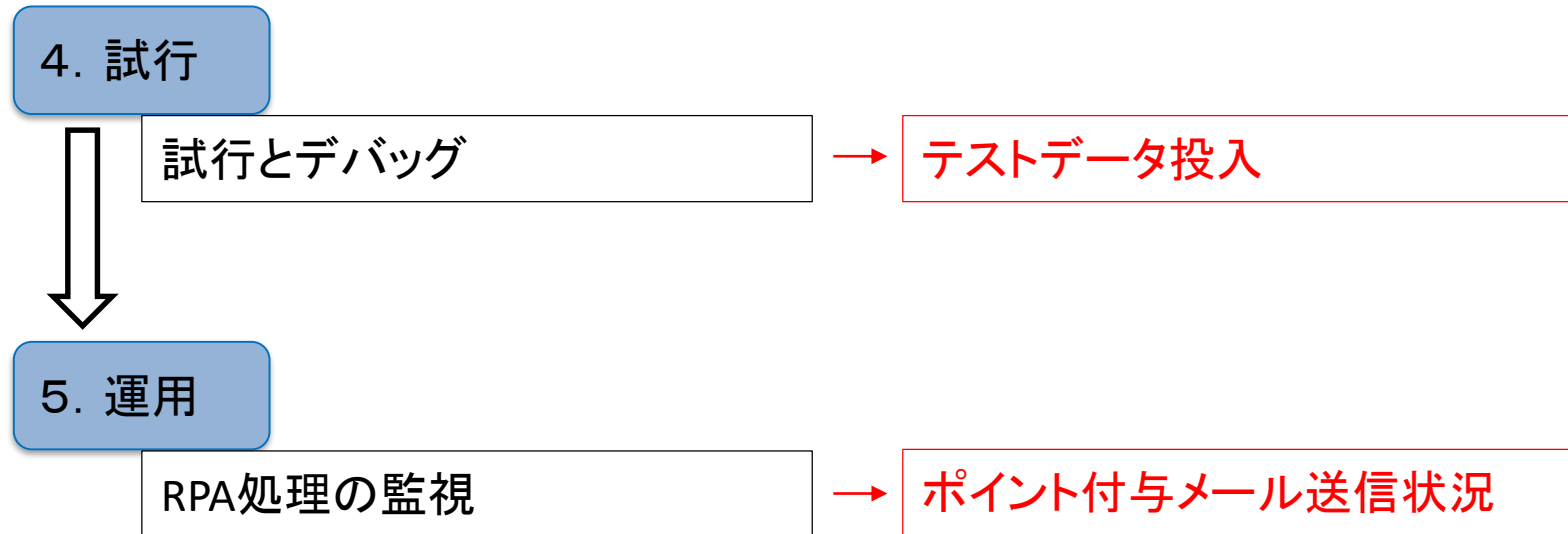
3-2. RPAの設定

→ RPAの設定

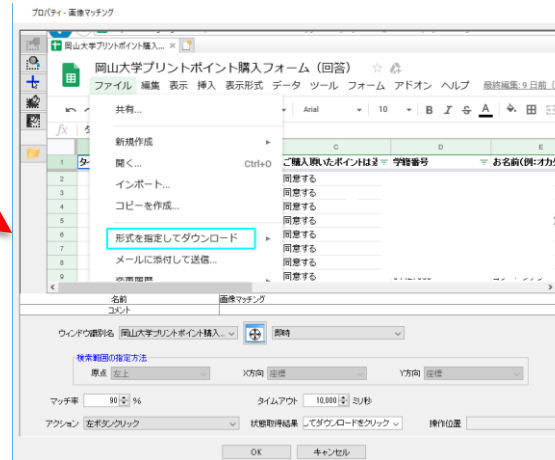
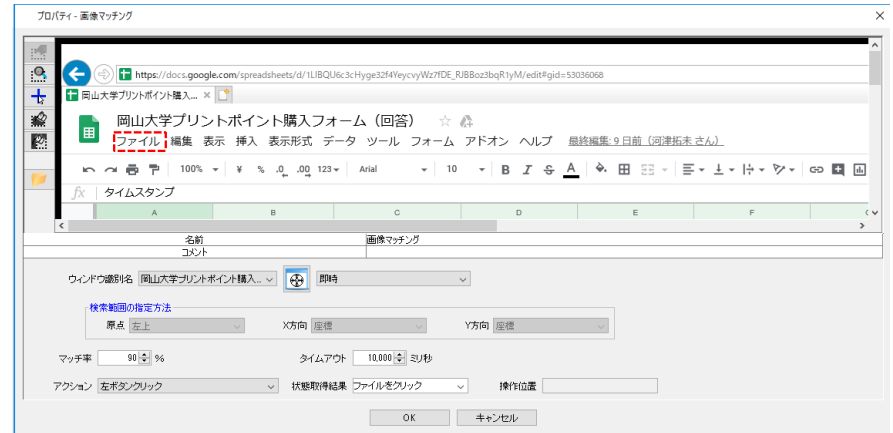
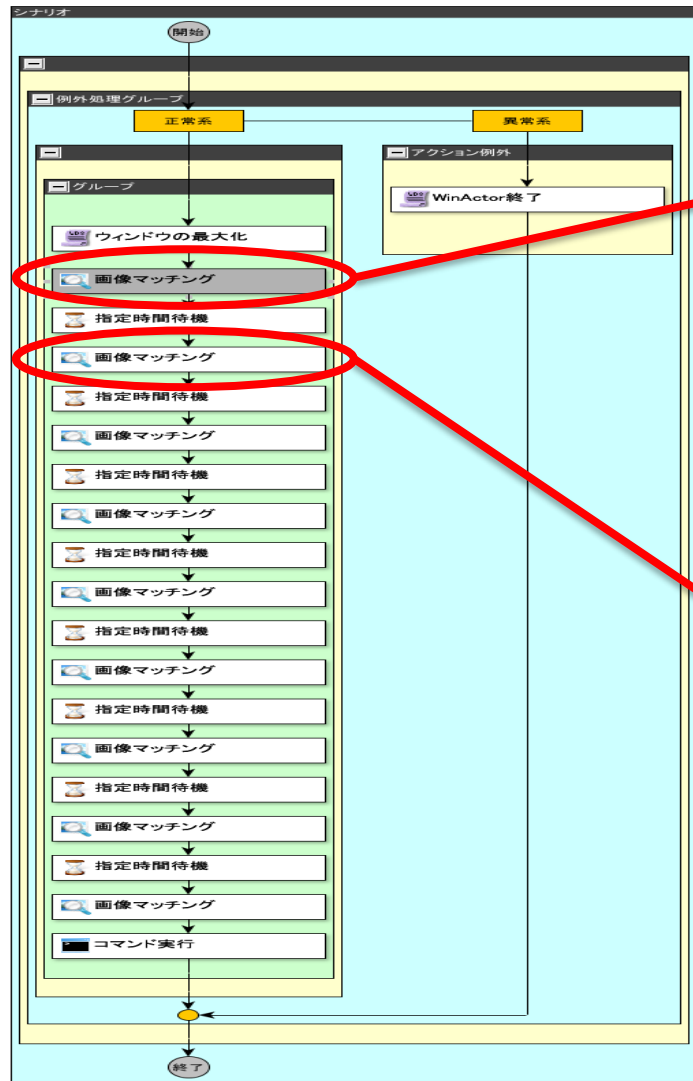
※RPA化する業務によっては不要



# 3. RPA化への準備から運用まで(2/2)



# 4. RPAの設定画面





# 5. 数字

RPA製品ライセンス価格 ※

908, 000円

フル機能版(開発+実行)/年間

248, 000円

実行版/年間

※NTT-AT社製 WinActor標準価格

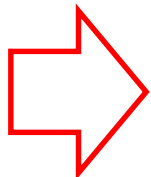
RPA化した業務工数(稼働)

5分 × 1, 500件/年間 = 7, 500分

7,500分 ÷ 60分は 125時間...

125時間は約16日か...

人件費を考えると...



...という効果測定では**足りない!**

## 6. 最後に

- ① RPAの導入検討で、業務整理とフロー見直しになります。導入如何に関わらず、手元の業務のRPA化の「検討」はお勧めします。
- ② 情報処理に関わられ続けている方には目新しいものではありません。精度が上がった自動操作ツールです。
- ③ ロボットは、教え方(上司・先輩)によっては購入直後(新人)から即戦力になります。
- ④ 人間と違って、複数の仕事を詰め込み、昼夜問わず労働、メンタルの心配不要、文句も言わず教えられた通りに業務を遂行します。
- ⑤ 「判断」や「複雑な連携プレー」が不要な、黙々とした業務はRPA化を検討しましょう。

